

改善箇所説明図②



小型トラックの燃料ポンプにおいて、使用過程における紫外線による劣化および製造時の残留応力によって樹脂部に亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して燃料が漏れるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、燃料ポンプの上部樹脂部分にゴム製カバーを追加する。

また、燃料ポンプを点検し、上部樹脂部分に亀裂がある場合は、燃料ポンプを新品に交換する。

注： は追加部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「LT131」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。